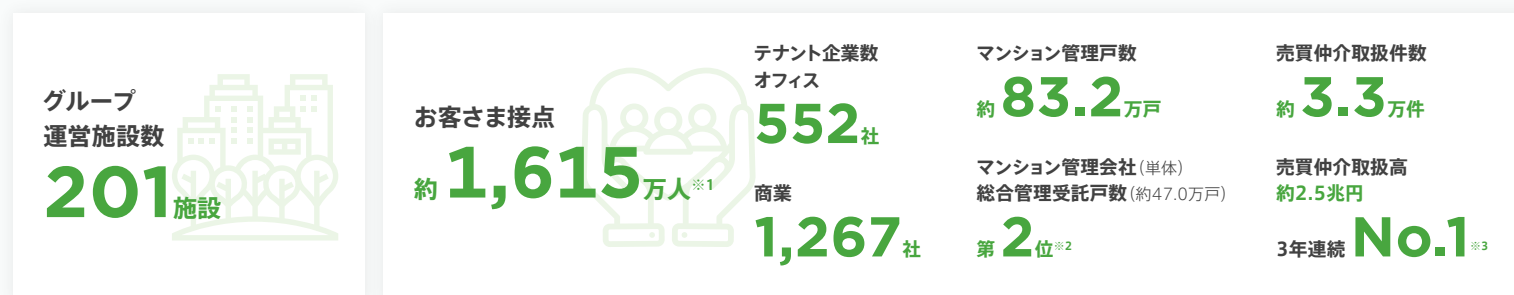




数字で見るグループの強み (2026年3月31日現在)

創業以来、当社グループは事業活動を通じて社会課題の解決に真摯に取り組み、お客さまや社会に新しい価値を提供し続けてきました。この「挑戦するDNA」を継承しながら成長を続け、現在では競争力の源泉となる当社グループならではの強みを有しています。

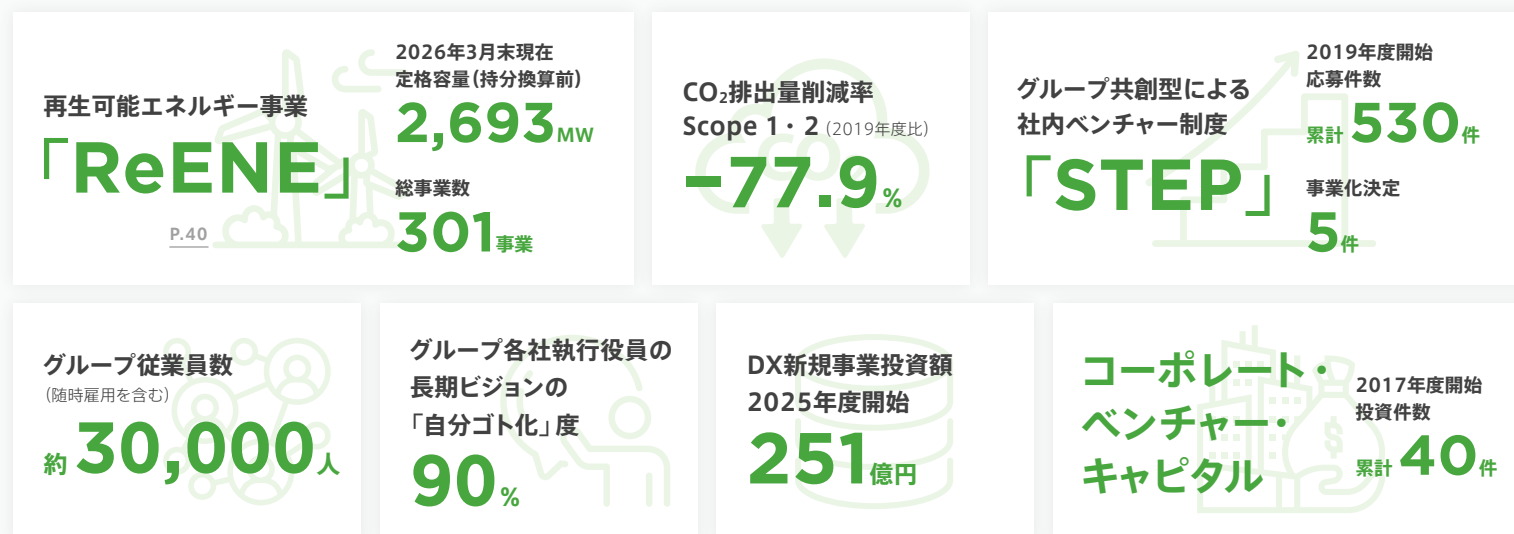
▶ 幅広いお客さま・市場接点



※1 商業施設アプリ・カード会員、BRANZ CLUB会員、東急こすもす会会員、東急ハーヴェストクラブ会員など ※2 出典：マンション管理新聞 2026.5.25号

※3 複数業界紙が選定した主要不動産流通会社の2023年度～2025年度の期間における取引調査結果などによる

▶ 独自の事業創出力



全社方針

環境経営

国内事業会社初
国際的イニシアチブ
RE100達成

(2024年4月認定 東急不動産)

°CLIMATE GROUP
RE100

国内事業会社初

100%再エネ 切り替え完了

(2022年12月 東急不動産)

CDP2025

Aリスト

気候変動

5 年連続で選定



全社方針

DX

DX銘柄2023以来、2度目の選定

DX銘柄2026
 Digital Transformation



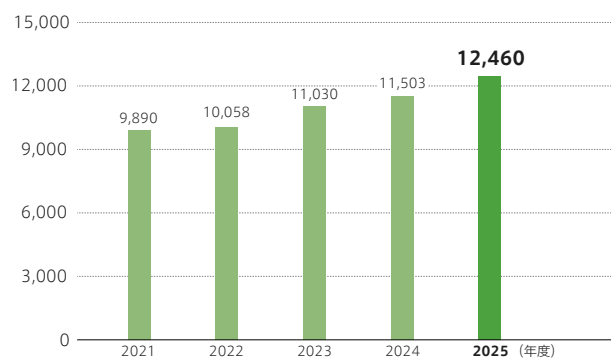
財務ハイライト

当社グループは、エリア価値創造への継続的な投資を通じて、安定的なキャッシュ創出と資産効率の向上を両立してきました。成長投資の成果がどのように収益性・資本効率の改善につながっているのかを、主要な財務指標を通じて紹介します。

▶ 主な財務指標

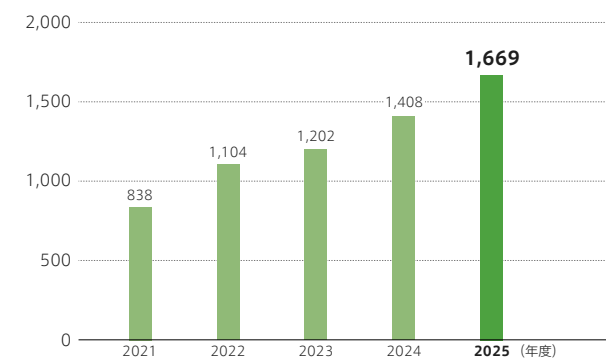
営業収益

(億円)



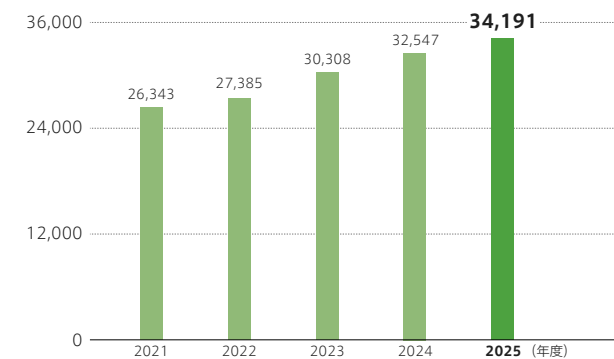
営業利益

(億円)



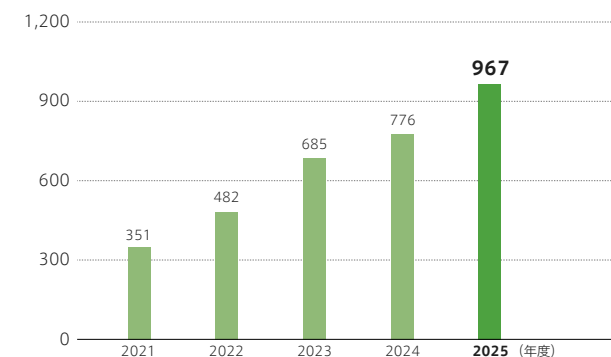
総資産

(億円)



当期純利益※

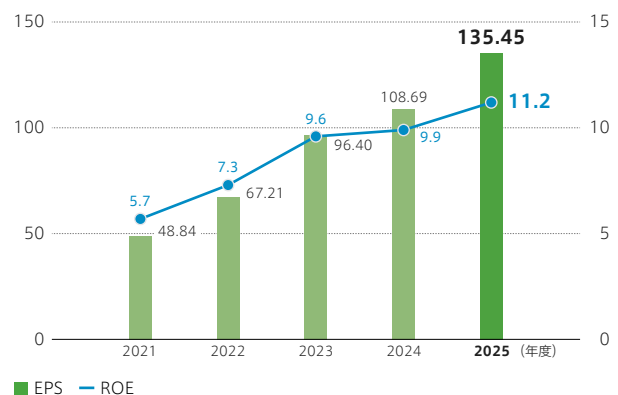
(億円)



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

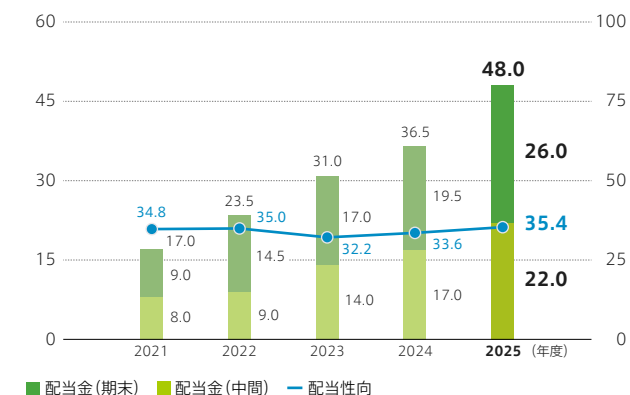
EPSおよびROE

(円)



配当金・配当性向

(円)



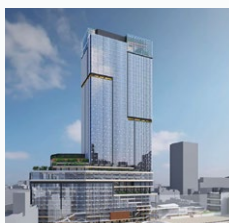


事業概要

不動産開発から管理・運営、仲介・流通、インフラ構築や不動産投資まで、
未来のまちづくりに必要な幅広い事業のノウハウ・リソースを保持しています。

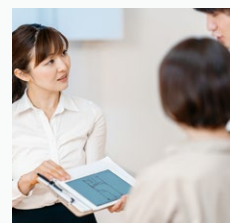
資産活用型ビジネス

多様なアセットタイプの開発実績や地域に根ざした事業プロデュース力を活かし、効果的投資およびパートナーとの共創型開発による「資産効率性の向上」を推進。



人財活躍型ビジネス

豊富なお客さま接点および当社グループの人財・運営ノウハウを活かしながら、DXによる知的資産の有効活用、労働集約型ビジネスモデルからの転換を図り、「生産性の向上」を推進。



都市開発事業 セグメント P.51

魅力ある街と暮らしを
創造する

- ・オフィス・商業施設事業
- ・住宅事業



管理運営事業 セグメント P.53

お客さまに感動体験を
提供する

- ・管理事業
- ・ウェルネス事業
- ・環境緑化事業など



戦略投資事業 セグメント P.52

次世代のインフラを
構築する

- ・再生可能エネルギー事業
- ・インダストリー事業
- ・投資運用事業
- ・海外事業



不動産流通事業 セグメント P.54

健全なストック社会を
牽引する

- ・仲介事業
- ・賃貸住宅サービス事業

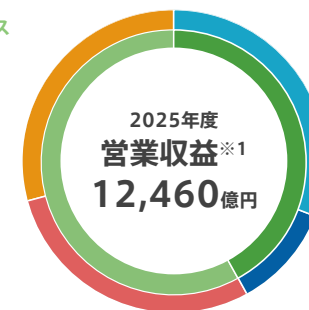


人財活躍型ビジネス

7,290億円
(57%)

●不動産流通事業
3,647億円
(29%)

●管理運営事業
3,644億円
(29%)



資産活用型ビジネス

5,466億円
(43%)

●都市開発事業
3,999億円
(31%)

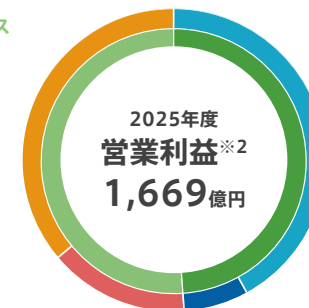
●戦略投資事業
1,466億円
(11%)

人財活躍型ビジネス

916億円
(51%)

●不動産流通事業
644億円
(36%)

●管理運営事業
272億円
(15%)



資産活用型ビジネス

885億円
(49%)

●都市開発事業
752億円
(42%)

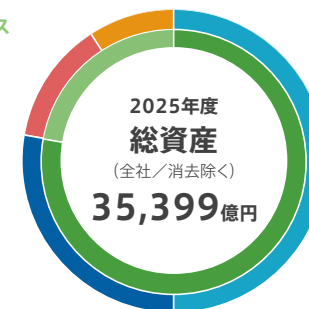
●戦略投資事業
132億円
(7%)

人財活躍型ビジネス

8,012億円
(23%)

●不動産流通事業
3,314億円
(9%)

●管理運営事業
4,698億円
(13%)



資産活用型ビジネス

27,387億円
(77%)

●都市開発事業
17,530億円
(50%)

●戦略投資事業
9,857億円
(28%)